



今年度の富士山学習を振り返って



2月22日(月)に、本年度最後の研究会(富士山学習研究会)が行われ、主に次の3つの内容で話し合いが進められました。

- *1 今年度の反省【・富士山学習研究会・教育センター事業】
- *2 富士山学習発表会開催について
- *3 研修 発災対応型防災訓練について 講師 富士山科学研究所 吉本充宏先生, 久保智弘先生, 古屋和仁先生, 藤巻桂吾先生



防災教育の取組, 専門機関等との連携が進んだ富士山学習

富士山学習においては課題となっている防災教育の取組が大きく前進しました。今年度は富士山科学研究所が「正しく知り, 正しく恐れよう~身近な防災のこと」という内容で西浜小で研究授業を行いました。資料や教具が充実していて, 児童にとって興味関心が湧き, 理解しやすく, 主体的な学びに繋がる授業でした。これをスタートにして, 多くの学校で授業を実施し, さらに, 各校で防災学習カリキュラムを作成していくことを目指しています。

児童・生徒アンケートでは富士山防災について実施しました。明らかになった課題をもとに今後さらに取組を進めていきます。今年度, 授業・アンケートは富士山科学研究所の支援があつて実施することができました。このように, 富士山学習の充実には専門機関等との連携はとても有効です。「富士山は文化遺産であること」の学習の取組においても専門機関等と連携を進め, 充実したものにしていきたいものです。

体験学習プログラムは, コロナの影響で役場見学は実施できませんでしたが, 木工教室では, 創造性あふれる作品を作ることができ, 満足気な顔であふれていました。掘抜学習では, 体験学習プログラム化されて3年が経過し, 富士山科学研究所の連携や資料の充実等で基本的な形ができました。



富士山研から噴火実験セット
町内学校に寄贈

英語支援スタッフを軸に質の高い小学校外国語科実施

教育センター事業の1つである「教育に関する専門的, 技術的事項の調査研究」において, 外国語科新設について取り組んでいます。本町では2年前の先行実施に伴い, 英語支援スタッフ3人を配置してくださいました。とても質の高い授業が行われており, 本格実施1年目をスムーズに迎えられました。評価については, 評価規準や評価方法など難しい面があり, 研修を行いました。

来年度に向けての課題

- 富士山学習の継続研究
- ・防災教育の取組(授業実施, 教育課程の位置づけ)
- ・文化遺産に関わる富士山学習の授業開発と実践
- ・管外視察研修(静岡県側の構成資産等の学習)
- ・富士山科学研究所・富士山世界遺産センター等との連携



ふじびん

小学5年から中学校まで利用する理科・環境教育副読本「私たちの自然」の編集改定作業が終わりました。最新のデータ, 豊富な画像・資料の副読本が4月に配布されます。編集委員の先生方, ご指導して下さった専門機関・有識者の方々ありがとうございました。

富士山学習発表会(展示)3月19日~27日 中央公民館にて